

合併検証報告書

平成16年12月 5日 大胡町・宮城村・粕川村と合併
平成21年 5月 5日 富士見村と合併

平成25年3月

前橋市

I	合併検証の目的	1
II	前橋市の沿革	
1	人口動態	2
2	面積	3
3	土地利用	3
III	合併効果の検証	
1	自立性の高い財政運営の確保	4
2	職員数の適正化	6
3	効率的な行政運営	7
4	行政制度	8
IV	合併まちづくり事業計画の検証	
1	新市建設計画・新市基本計画の進捗状況	13
V	市民意向調査の結果	
1	調査の目的	23
2	調査の概要	23
3	回答者の属性	24
4	調査結果	25
VI	検証のまとめ	42

参考資料

市民意向調査 調査票様式

I 合併検証の目的

平成16年12月5日に前橋市は大胡町、宮城村、粕川村と、さらに平成21年5月5日には富士見村と合併し、面積311.64km²、人口約34万人の前橋市が誕生しました。

合併前の各市町村の体制は、明治、昭和の合併を経て、昭和30年代に形作られました。その後、少子高齢化や日常生活圏の拡大など、地域社会を取り巻く状況は大きく変化をしてきました。

また、地方分権時代を迎え、市町村には自己決定・自己責任の原則のもと、効果的な施策を推進するための体制の整備・強化を進め、住民に身近なサービスを地域の責任ある選択に基づいて提供していくことが強く求められるようになりました。

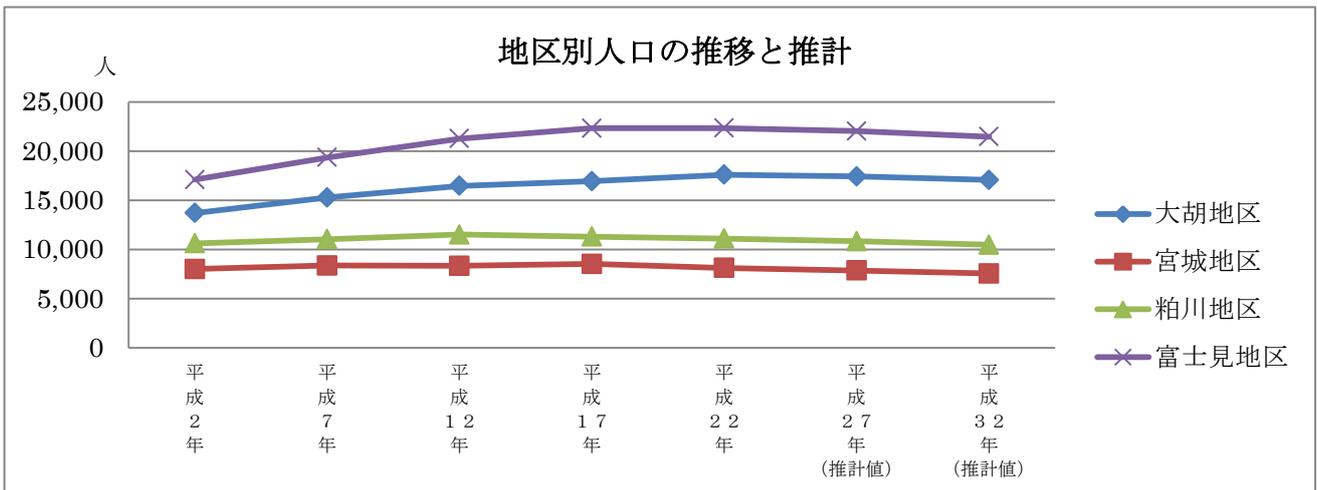
こうした中で、市町村合併は、国や地方自治体の厳しい財政状況をはじめ、少子高齢化の進展や広域的な行政需要の増大などを背景に、地方分権の担い手となる基礎自治体として、ふさわしい行財政基盤を確立することを目的に進められました。

合併検証は、このような新しい時代の流れに沿って進められてきた本市の市町村合併の効果や、計画されていた事業の進捗状況を中心に検証し、その結果を踏まえて、今後の新市全体のさらなる発展及び一体性の確立を図ることを目的に実施しました。

Ⅱ 前橋市の沿革

1 人口動態

本市の総人口は、平成25年2月末日現在の住民基本台帳人口で341,715人、世帯数は140,172世帯です。国勢調査の結果では、平成17年から人口減少が始まっており、年齢別人口割合からは少子高齢社会が進んでいることが確認できます。



地区別人口割合の推移と推計

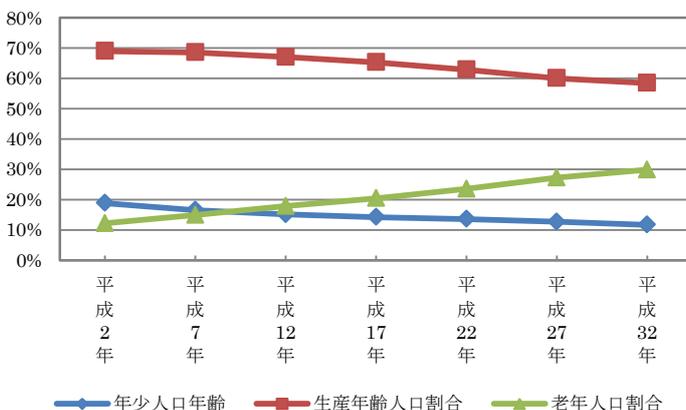
(単位：人)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
旧市域	286,261	284,788	284,155	281,820	281,103	276,693	269,879
大胡地区	13,700	15,282	16,461	16,933	17,609	17,426	17,069
宮城地区	8,017	8,361	8,336	8,530	8,127	7,867	7,550
粕川地区	10,630	11,052	11,513	11,301	11,108	10,842	10,478
富士見地区	17,096	19,362	21,273	22,320	22,344	22,025	21,471
市全体	335,704	338,845	341,738	340,904	340,291	334,853	326,447

※平成2年から平成22年までの数値は各年とも国勢調査結果

平成27年・平成32年は国勢調査結果により算出した推計値

市全体の年齢別人口割合



※数値は各年とも国勢調査結果

※平成27年と平成32年は推計値

※年少人口とは、15歳未満の人口

※生産年齢人口とは、15～64歳の人口

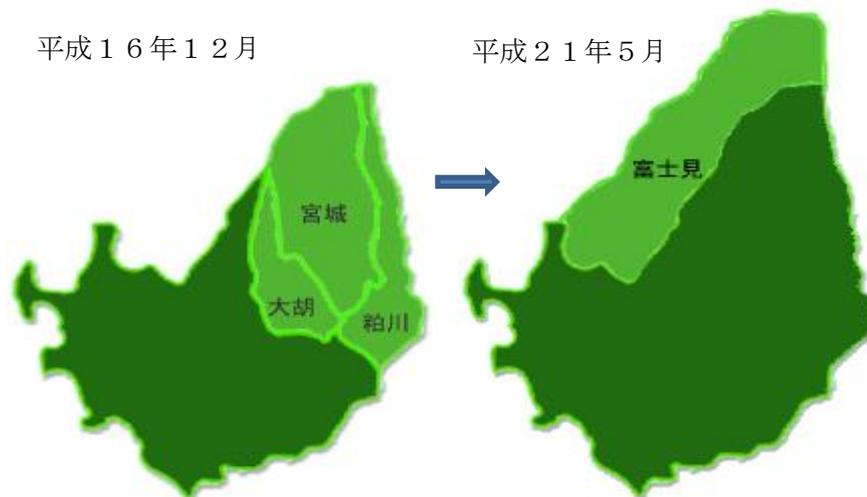
※老年人口とは、65歳以上の人口

2 面積

合併後は、東西20.5キロメートル、南北27.9、面積311.64平方キロメートルの市域となり、群馬県の面積の約4.9パーセントを占めています。

また、標高の最も高いところは富士見町赤城山（黒桧山）の海拔1,828メートル、最も低いところは下阿内町の64メートルとなりました。

合併年月日	合併町村名	面積（単位：km ² ）	
		合併町村の面積	合計
合併前	—	—	147.34
平成16年12月5日	大胡町	19.76	241.22
	宮城村	48.15	
	粕川村	25.97	
平成21年5月5日	富士見村	70.42	311.64



3 土地利用

合併前の前橋市は、全域が市街化区域と市街化調整区域に線引きされていましたが、大胡、宮城、粕川、富士見の各地域は独自の都市計画区域として、非線引きのままとなっています。

合併後の土地利用は、土地利用規制の急激な変化を避けるため、合併からおおむね10年後に都市計画区域を統合し、市街化区域と市街化調整区域の線引きが計画されています。

具体的な計画案は、今後検討していくこととなりますが、各地区で都市計画制度の勉強会を開催するなど、調整に向けた取り組みが進んでいます。

Ⅲ 合併効果の検証

地域の将来に備えて行われた市町村合併は、本来の効果が現れるまでに、ある程度の期間が必要であると考えられていますが、特別職や議員数の削減による経費の節減効果や新たな行政サービスの適用、公共施設利用の選択肢の増加など、短期間で効果が確認できるものもあります。

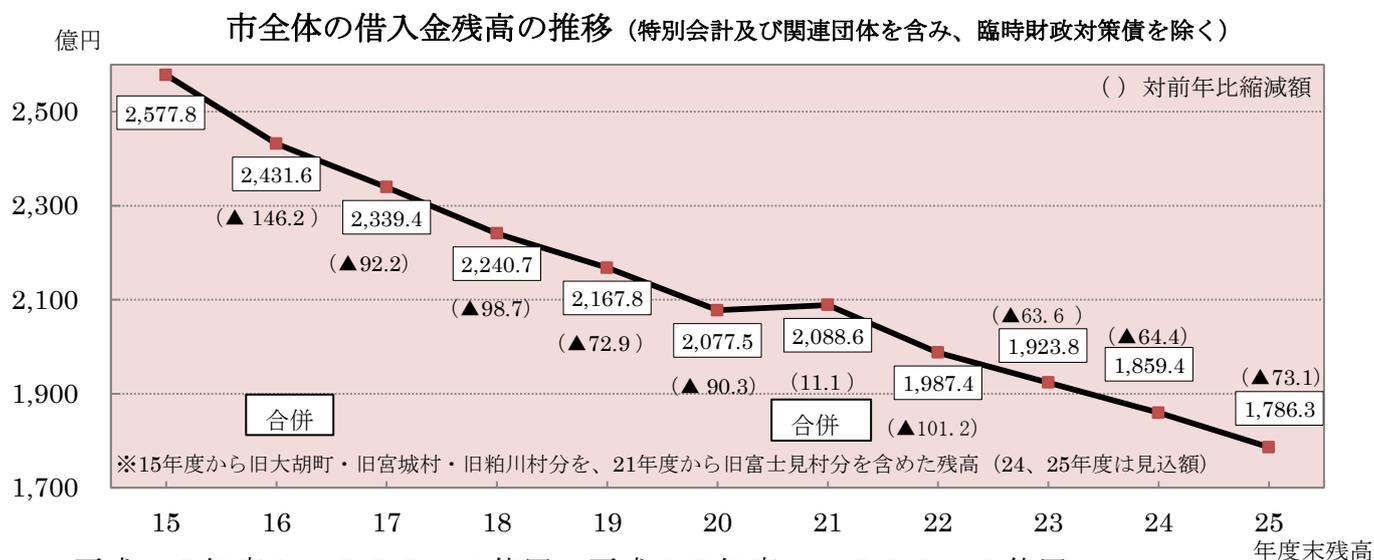
ここでは、合併によって行政の規模が大きくなった効果を活かした取り組みや、拡充した行政サービスなどを中心に、主な成果をまとめました。

1 自立性の高い財政運営の確保

合併によって、重複する行政機能を統合し、人口面積が増え広がることによって、行政運営を効率化させることにより、行財政基盤が強化された自立性の高い行財政運営を目指しました。

合併後は、歳入と歳出の徹底した見直しで借入金残高を縮減し、行財政基盤の強化及び健全化に努めるとともに、合併特例債や合併推進債をはじめとする、国や県の財政支援を有効に活用し、学校教育施設や道水路の整備など、新市の均衡ある発展のための事業推進に努めています。

しかしながら、長引く不況の影響で、財源の中心である地方税の収入が減少するなど、国や地方の財政状況は、依然として厳しい状況が続いています。



・平成15年度2,577.8億円→平成25年度1,786.3億円

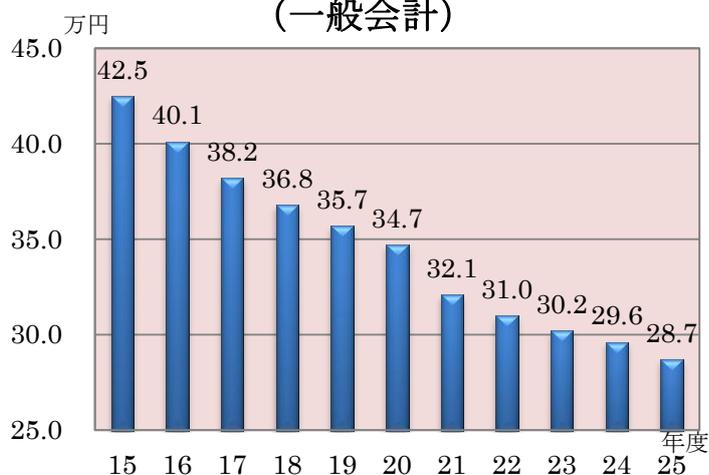
・▲791.5億円の借入金残高を縮減（見込み額を含む）

※臨時財政対策債（平成25年度末残高見込502.7億円）

<用語解説>

- ・臨時財政対策債…地方交付税の代わりに借りる借金（後年度に地方交付税として全額国から交付される）
- ・地方交付税…一定のサービスが維持できるように国から交付される収入（収入の不足分を交付）

市民1人あたりの通常債残高 (一般会計)



平成15年度 42.5万円



平成25年度 28.7万円

▲13.8万円の縮減
(見込み額を含む)

- ・市民1人あたりは、各年度表(3月末)の本市人口で算出
- ・24、25年度は24年12月末の本市人口で算出
- ・15年度以降は旧大胡・宮城・粕川町村分を21年度以降は旧富士見村を含んだ残高を住民基本台帳人口で算出
- ・平成24、25年度は見込み額

<用語解説>

- ・通常債…市債(地方債)から臨時財政対策債を除いたもの

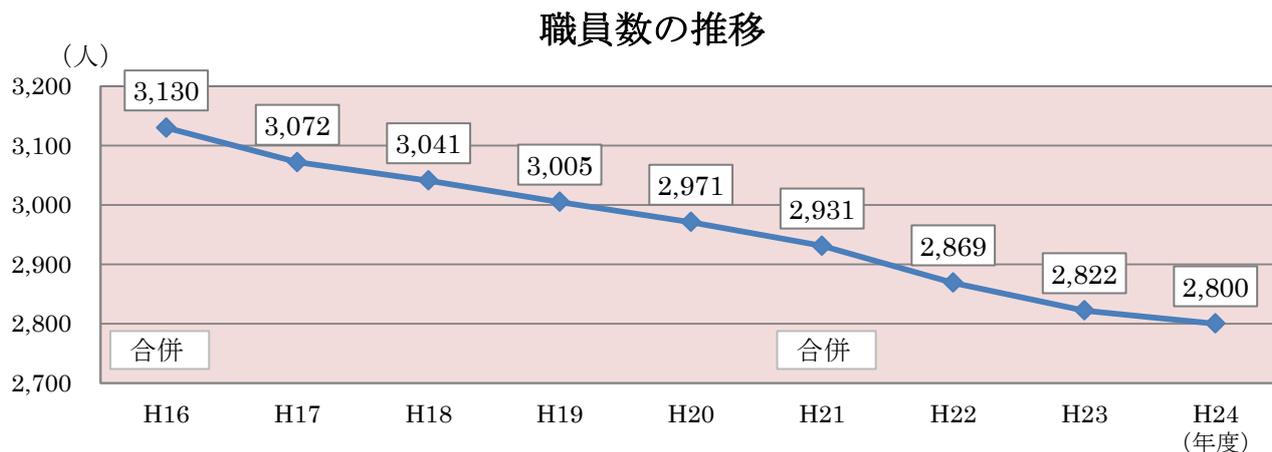
【合併特例債及び合併推進債】

両地方債は、合併後10か年度の市町村建設計画事業に基づく、特に必要な建設事業の経費に充当することができ、元利償還金の70%(合併特例債)または40%(合併推進債)は、普通交付税により補てんされます。

	合併特例債 (H26年度まで発行)	合併推進債 (H31年度まで発行可能)
発行限度額	36,917,000千円	限度額の設定はない
発行済額 (平成24年度3月補正後の見込額を含む)	31,642,100千円 (平成17年度～24年度)	2,489,000千円 (平成21年度～24年度)

2 職員数の適正化

地域主権一括法関連の権限移譲や福祉部門における行政サービスの需要増などにより、市が担うべき事務が増える中、最少の経費で最大の行政効果を上げるため、民間委託の推進や嘱託・臨時職員の活用、市町村合併を契機とした管理部門の効率化等に取り組み、計画的に職員数を見直してきました。



☆ 8年間で職員 330 人を削減 (H16.4 : 3,130 人 → H24.4 : 2,800 人)

☆ 人件費の削減額は、累計約 24 億円 → 行政サービスの維持・向上に活用

※各年度の職員平均給与額をもとに算出したもの

※職員数は、いずれも旧大胡町、旧宮城村、旧粕川村及び旧富士見村の職員数を含めている。
(H16.4 時点で、旧大胡町 125 人、旧宮城村 89 人、旧粕川村 136 人。H21.4 時点で旧富士見村 141 人。)

3 効率的な行政運営

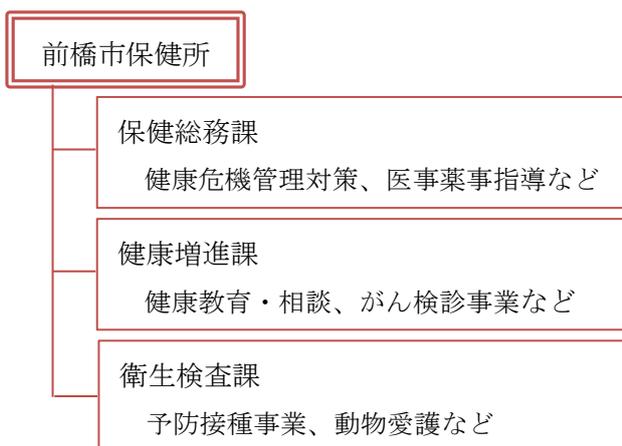
(1) 専門組織の設置

市町村合併により中核市の人口要件を満たしたことから、平成21年4月に中核市へ移行しました。これまで県が行っていた約2,000項目の事務を、市民にとってより身近な市が行うことで、事務処理の一元化が図られ、各種行政サービスの利便性が向上しました。

また、保健所や廃棄物対策などの専門的な組織を設置し、市民のニーズに即した、きめ細かな行政サービスを提供するための体制を整えました。

<中核市移行に伴う主な移譲事務>

- 身体障害者手帳の交付
- 精神保健相談、難病療養相談
- 母子・寡婦福祉資金の貸し付け
- 飲食店や食品製造業の営業許可
- 感染症の予防、食品の検査
- 産業廃棄物の不法投棄対策
- 動物愛護 など



大胡・宮城・粕川地区に東部建設事務所を、富士見地区に道路建設課工務第三係を設置するとともに、専門職である土木技師を配置し、専門知識を活かして道水路事業等を推進しています。

- 〈東部建設事務所（大胡支所内）及び道路建設課工務第三係（富士見支所内）の主な業務〉
- ・道路橋梁の新設改良、準用河川の改修及び維持、道水路の維持補修 など

大胡・宮城・粕川・富士見支所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、国民健康保険、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉等の市民生活に密着した窓口業務を引き続き行っています。

また、各支所では、支所長に一定の権限を委譲するなど地域課題の解決に努めるとともに、各地域のまつりやイベントなどの支援を行っています。

(2) 公共施設の見直し

合併によるスケールメリットを活かした公共施設の見直しでは、業務の効率化を推進するため、老朽化した粕川液肥センター（平成16年度）、富士見衛生センター（平成21年度）、大胡衛生センター（平成24年度）を稼働停止し、六供町の処理施設で一括処理することにより、し尿処理に係る経費の削減、合併地区の安定した、し尿処理体制を整えました。

また、学校給食中央共同調理場の対象校を、他の調理場に分散化することで、平成23年度末で中央共同調理場を廃止し、施設整備や維持管理費を削減するなど、市民サービスを維持しながら、合併効果を活かした見直しを行いました。

4 行政制度

(1) 合併による行政サービスの充実

合併時に、福祉・教育・産業などの様々な分野で、前橋市が実施していた多くの行政サービスが、新たに利用できるようになりました。

また、合併後も、環境や交通・安全安心などの各分野で、行政サービスの充実に取り組んでいます。分野別の主な事業は、次のとおりです。

【都市基盤】

○安全で快適な道路整備等

- ・道路、水路の維持補修の推進
- ・都市内幹線道路や生活関連道路などの拡幅整備等を実施

舗装率の向上 H17.4～H24.4：大胡地区 5.8%増、宮城地区 3.9%増、粕川地区 6.9%増
H22.4～H24.4：富士見地区 0.5%増

○老朽化した水道管の更新

- ・老朽管や脆弱な石綿セメント管の更新による管路の耐震化の推進

石綿管残延長の縮減

大胡地区 (H16.12 時点) 12.0km → (H24.3 時点) 1.2km

宮城地区 石綿管は存在せず

粕川地区 (H16.12 時点) 7.0km → (H24.3 時点) 0km

富士見地区 (H21.5 時点) 2.1km → (H24.3 時点) 1.5km※大洞地区

【交通・安全安心】

○ふるさとバス（大胡、宮城、粕川地区）の運行

- ・3地区に267か所のバス停を設置し、定期路線バスをデマンド化

○るんるんバス（富士見地区）の運行

- ・地区内に150か所のバス停を設置し、バスを使いやすくするための社会実験を実施中

○防犯パトロールの実施

- ・自治会や防犯団体が実施する防犯パトロールへの支援

○非常用食糧等の備蓄

- ・非常用食糧を常時151,470食確保(H29から常時168,300食確保)

○有害鳥獣・防犯・交通安全対策

- ・竹やぶ・篠やぶ大掃除大作戦の実施で、山林等の竹やぶ・篠やぶを伐採

(H24 実施面積：約24ha)

【健康・福祉】

- 子ども医療費の無料化
 - ・中学3年生までに対象を拡大し、子育ての負担を軽減
- がん検診の無料化
 - ・各種がん検診の個人負担を完全無料化し、受診しやすい環境を整備
- 健康診査の無料化
 - ・骨粗しょう症、歯周疾患、肝炎ウイルス、スマイル健康診査個人負担の完全無料化
- エリアマネージャー制度の実施
 - ・保健師等が連携し、自治会をはじめ団体、地域の住民と顔の見える関係をつくりながら、協働による地域の健康づくりを推進
- 第3子以降保育所保育料の無料化
 - ・第3子以降の保育所保育料無料化で、保護者の負担を軽減
- 国基準を上回る保育士の配置
 - ・国の保育士配置基準（3歳児:保育士=20:1）に対し、16:1で保育士を配置
- 放課後児童クラブの整備
 - ・共働き家庭などの児童が放課後に利用できる施設を各地区に新設
（おおご、おおごひがし、みやぎ、かすかわ、いしい・しらかわ児童クラブ）
- 前橋市保健所の設置
 - ・県と市の保健衛生サービスが一元化され、市民に身近なところで幅広いニーズに対応

【教育】

- 特別支援学級介助員の配置
 - ・特別支援学級に在籍している児童生徒への支援を充実
（小中学校39校に46人配置）
- 前橋マイタウンティーチャーの配置
 - ・少人数指導の充実による基礎学力の向上（小学校49校に49人配置）
- まえばしネット（施設事前予約システム）による利便性向上
 - ・パソコンや携帯電話から、スポーツ施設の空き情報や予約が可能
（対象施設数：22施設 平成24年4月現在）
- 第3子以降給食費の無料化
 - ・小中学校に同時に通学する第3子以降の児童、生徒を対象に給食費を無料化
- 学校教育施設の整備
 - ・耐震化や大規模改修、新築などにより、児童生徒の安全確保と教育環境を充実
- 図書館分館の設置
 - ・各図書館配本連携により約95万冊の図書、CD及びDVDの利用環境の充実

【産業】

- 中小企業融資制度
 - ・設備の導入や製品の研究開発のほか、新規開業に対して支援するなど各種融資により、中小企業を支援
- 農業施策の充実
 - ・新規就農者支援事業、担い手支援事業補助金などによる農業支援
- 赤城の恵ブランド認証制度の創設
 - ・前橋産農畜産物や加工品の消費・販路拡大を推進（28品目認証：H25.3末現在）
- 赤城山及び赤城山南麓の観光振興
 - ・観光資源の一体的なPRや観光施設の充実
 - ・赤城山直通バスの運行を実施
 - ・赤城山ヒルクライムや各種イベントの開催による、イメージや知名度の向上

【環境】

- 家庭ごみ収集手数料の無料化
 - ・有料指定ごみ袋を廃止、前橋市指定ごみ袋に統一し負担を軽減（富士見地区は無料化を継続）
- 生ごみ処理機・枝葉粉碎機購入費の一部助成
 - ・家庭から出る生ごみなどの減量とリサイクルを推進
- 紙リサイクルの推進
 - ・古紙分別収集の開始や、各支所等に紙リサイクル庫を設置
- 新エネ・省エネ機器の普及促進
 - ・住宅用太陽光発電システムや住宅用高効率給湯器の設置補助
- ごみの不法投棄防止対策
 - ・監視、撤去指導及びパトロールの強化（H24実績：監視延べ日数501日、指導件数281件）

【行政】

- 利用できる公共施設、窓口の増加
 - ・各種証明書発行、各種届出の受付窓口や利用できる公共施設が増加し、利便性が向上
 - 各種証明書発行窓口：21か所
 - 図書館及び分館、こども図書館：16館
- 地域づくり活動への支援
 - ・地域をより良くするために必要な活動を、地域全体で実践する仕組みづくりの推進（市内20地区で実施：H25.3末現在）
- 情報通信技術の活用
 - ・市立図書館、こども図書館、全図書館分館のネットワーク化で利便性が向上

(2) 市民負担の調整状況

公共料金等の負担についての多くは、合併後に急激な負担増とならないよう合併協議に基づき、旧前橋市の制度に段階的に移行しました。

一方、旧前橋市に比べて負担の高かったものの中には、低負担の前橋市に合わせたものもありました。

しかし、合併前後では負担が変わらなかったものの、その後の少子高齢化や生産人口の減少など、社会構造の変化に対応した制度改正の結果、合併当時に比べて負担が増えた項目もあります。

以下に合併時の調整内容と、その内容が現時点でどのようになっているか、主な制度を整理しました。

(大胡・宮城・粕川地区)

調整項目	地区名	合併前 (H15. 4 現在)	合併後 (H17.4 現在)	現在 (H24.4 現在)
国民健康保険税 (介護納付金分は除く) モデル世帯(3人世帯、所得 200万円、資産税額10万円)	前橋	236,900円	236,900円	236,000円
	大胡	223,900円	平成20年度までに、各地区別に、段階的に前橋市の税率に調整を行った。	
	宮城	196,700円		
	粕川	230,100円		
介護保険料 (基準額：年額)	前橋	37,200円		37,200円
	大胡	36,600円	※旧町村地区は、平成18年度から前橋市と同一の保険料とした。	
	宮城	31,200円		
	粕川	34,400円		
水道料 (一般家庭用口径13mmで1 ヶ月30m ³ 使用した場合の水 道料金(消費税抜き))	前橋	3,242円		3,242円
	大胡	4,920円		
	宮城	3,490円		
	粕川	4,040円		
下水道使用料 (一般家庭で1ヶ月30m ³ 使 用した場合の使用料(消費税 抜き))	前橋	3,060円	3,060円	3,060円
	大胡	3,400円		
	宮城	3,220円		
	粕川	公共下水道なし	—	
農業集落排水事業使用料 (一般家庭で1ヶ月30m ³ 使 用した場合の使用料(消費税 抜き))	前橋	3,060円	3,060円	3,060円
	大胡	3,600円		
	宮城	3,220円		
	粕川	3,300円		

保育料・・・大胡町・宮城村では、ほとんどの方の負担が軽減され、粕川村では、負担が増える方、軽減される方がそれぞれ約半数となりましたが、保育料の増額の幅が大きい方は段階的に前橋市の制度に調整を行いました。

(富士見地区)

調整項目	地区名	合併前 (H20.4 現在)	合併後 (H22.4 現在)	現在 (H24.4 現在)
国民健康保険税 (介護納付金分は除く) モデル世帯(3人世帯、所得 200万、資産税額10万円)	前橋	236,000円	236,000円 ※H22までに段階的に前橋 の税率に調整を行った。	236,000円
	富士見	228,600円		
介護保険料 (基準額：年額)	前橋	48,800円	48,800円 ※富士見地区は、平成21 年度から前橋市と同一の保 険料とした。	57,900円
	富士見	44,760円		
水道料 (一般家庭用口径13mmで1ヶ 月30m ³ 使用した場合の水道料金 (消費税抜き))	前橋	3,242円	3,242円	3,242円
	富士見	4,200円		
下水道使用料 (一般家庭で1ヶ月30m ³ 使用し た場合の使用料(消費税抜き))	前橋	3,060円	3,060円	3,060円
	富士見	3,296円		
農業集落排水事業使用 料 (一般家庭で1ヶ月30m ³ 使用し た場合の使用料(消費税抜き))	前橋	3,060円	3,060円	3,060円
	富士見	3,296円		

保育料・・・保育所(園)の保育料は、前橋市と富士見村の保育料が同じであったため、変更はありませんでした。

1 新市建設計画・新市基本計画事業の進捗状況

新市建設計画・新市基本計画は、前橋市・大胡町・宮城村・粕川村・富士見村の総合計画を踏まえて作成された、合併後のまちづくり事業計画です。

各計画には、合併による財政支援措置を有効に活用した新市における「まちづくりの主要事業」が位置づけられており、この主要事業は、行財政の効率的な運営体制を確立しながら事業を推進し、合併後の速やかな一体性の促進と住民福祉の向上を図ることを目的としています。

ここでは、新市建設計画・新市基本計画に位置づけられた主要事業のうち、主なハード事業の実施状況を整理しました。

(1) 新市建設計画（大胡・宮城・粕川地区）

計画期間：平成16年度～平成26年度

【交通・安全】

①交通

事業内容	実績	備考
江木駅、大胡駅間に新駅設置	<ul style="list-style-type: none"> ・新駅設置に関する地元説明会の実施（H21） ・上毛電気鉄道(株)と新駅設置の事業効果等を検証 	検討中

②安全

事業内容	実績	備考
非常用食糧及び生活関連物資の備蓄	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用食糧の備蓄（常時151,470食を確保） ・簡易トイレ、炊き出し用大釜等の購入 ・防災倉庫の整備（宮城1基、粕川3基を設置済） 	
耐震性貯水槽・防火水槽の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性貯水槽（40 m³）を毎年度、各地区に1基を整備（大胡7基、宮城7基、粕川7基を設置済） 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・防火水槽の整備（大胡1基、宮城1基、粕川1基を設置済） 	
消防団ポンプ自動車の更新	<ul style="list-style-type: none"> ・水槽付き消防ポンプ自動車（大胡1台更新済） ・消防団ポンプ自動車（大胡3台、宮城1台、粕川1台更新済） ・消防団救助資機材搭載型車両（宮城1台更新済） ・小型動力消防ポンプ積載自動車（粕川1台更新済） 	
防災無線の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・H22：デジタル防災行政無線の整備完了（遠隔制御盤：各支所1台、屋外子局：大胡10基、宮城6基、粕川6基設置済） ・H22：全国瞬時警報システム（J-ALERT）の整備完了 	
大胡・宮城・粕川地域方面の消防・救急体制強化のために常備の消防分署を設置	<ul style="list-style-type: none"> ・東消防署宮城分署の設置（H19.4.1開署） <p>出動状況（H24.1.1～12.31） 火災：4回、救急：530回、他災害：4回</p>	

【福祉】

①福祉

事業内容	実績	備考
児童クラブの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ H18：おおご児童クラブ（新築）完成 ・ H19：かすかわ児童クラブ（新築）完成 ・ H20：おおごひがし児童クラブ（新築）完成 ・ H22：みやぎ児童クラブ（新築）完成 	
子育て支援センターの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域子育て支援センターの設置（大胡、宮城、粕川地区に各1か所設置済） 	
障害者の社会参加促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ H23：粕川福祉作業所の新築（H24.3.14 開所） 	

②健康

事業内容	実績	備考
中核市移行に伴い地域保健法による保健所の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前橋市保健所の設置（H21.4.1 開所） 感染症対策、食品衛生、生活衛生、精神保健、医事・薬事、動物愛護等の各種業務を実施 	

【教育】

①学校教育

事業内容	実績	備考
適応指導教室の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適応指導教室「かがやき」（粕川町新屋）を設置済（不登校児童生徒の相談、指導） 	
小中学校の校舎等の耐震診断の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ H17：大胡中学校校舎、大胡幼稚園園舎、宮城小学校校舎、宮城幼稚園園舎、粕川中学校校舎完了 	
小中学校の校舎等の耐震補強工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ H19：宮城小学校校舎、粕川中学校南校舎完了 ・ H20：大胡中学校校舎、粕川中学校北校舎完了 	
小中学校の校舎等の大規模改修・改築の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ H18：大胡小学校校舎等（新築）完成 ・ H21：大胡東小学校校舎（増築）完成 ・ H22：宮城幼稚園園舎（新築）完成 ・ H23：粕川中学校南校舎（大規模改修）完了 ・ H24：粕川中学校北校舎（大規模改修）完了 ・ 大胡中学校校舎（大規模改修）、粕川小学校校舎（新築） 	実施中
老朽化した体育館の改築の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ H20：滝窪小学校体育館（新築）完成 ・ 大胡中学校体育館（新築）、宮城小学校体育館（新築） 	実施中
小中学校のプールの改修・改築の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ H21：滝窪小学校プール（新築）完成 	

②社会教育

事業内容	実績	備考
子供の文化・科学をはぐくむための中核施設として、また、学校外活動の拠点としての活動を推進	・ H23：児童文化センターの新築（H24.1.21 開館） 子どもたちの「学び」と「遊び」の活動交流拠点を整備	
こども図書館の整備	・ H19：こども図書館を前橋プラザ元気 21 に設置済（H19.12.8 開館）	
体育館などの利用案内・予約システムを整備	・ まえばしネット（施設事前予約システム）を構築済（対象施設数：22 施設 H24.4 現在）	
老朽化した宮城支所の新築を行い、公民館機能等を整備	・ H21：宮城支所の新築、図書館宮城分館の設置（H21.9.7 開所）	

【環境】

①生活環境

事業内容	実績	備考
浄化槽汚泥の適正処理に向けた施設の整備	・ し尿、浄化槽汚泥等を六供町の施設で一括処理 ・ 効率的な処理方法や現行施設の老朽化対策を検討	検討中
有価物集団回収事業の推進等	・ 紙リサイクル庫の設置 （大胡支所、大胡クリーンセンター、宮城支所、粕川支所に各 1 基を設置済）	
老朽化した斎場の現在地での建て替え	・ H22：前橋市斎場の整備（H23.2 新斎場全面供用開始） 式場 1・2、待合室等（H20.8 供用開始） 火葬棟、式場 3 等（H22.2 供用開始） 外構、植栽、ふじ公園整備、斎場周回道路整備、旧火葬棟解体等（H23.1 工事完了）	

②上下水道

事業内容	実績	備考
老朽管等の更新、経年管・石綿管の布設替え	・老朽管や脆弱な石綿セメント管の更新 (配水管布設替工事等)	実施中
浄水施設の整備、県央第二水道の受水施設等の整備、既存浄化施設の修理等	・老朽化した小規模配水池や遠方監視システムなどの整備 (配水施設工事等)	実施中
公共下水道の整備、計画的な下水道管の布設	・大胡地区（大胡町、茂木町、堀越町、上大屋町、樋越町） ・宮城地区（鼻毛石町）	実施中
農村地域における汚水処理施設の整備	・H20：宮城地区（馬場地区）整備完了	
	・粕川地区（女淵・深津地区）	検討中

【都市基盤】

①道路

事業内容	実績	備考
旧市町村地域間を一体的に結ぶ都市内幹線道路の整備	・H21：市道大胡 103 号線（堀越町）整備完了 市道宮城 123 号線（市之関町）整備完了	
	・H22：市道大胡 2309 号線（堀越町）整備完了 ・市道粕川 2063 号線（粕川町女淵・一日市ほか） ・市道粕川 3 号線ほか（粕川町膳・中・稻里ほか）	実施中
住民生活の向上と安全確保のため、通学路など生活に密着した地域の基幹道路の新設及び歩道設置等の改良	・H19：市道宮城 5 号線（市之関町）整備完了 ・H22：市道大胡 3 号線南（堀越町）整備完了	
	・市道大胡 3 号線北（堀越町） ・市道宮城 1 号線ほか（鼻毛石町） ・市道宮城 133 号線（大前田町） ・市道宮城 2 号線（鼻毛石町・大前田町） ・市道粕川 1 号線ほか（粕川町室沢・月田・中ほか） ・市道粕川 3085 号線ほか（粕川町中・前皆戸ほか）	実施中
上武道路等の広域幹線道路及び県道等の都市内幹線道路へのアクセス道路整備の推進	・H21：市道宮城 3005 号線（鼻毛石町）整備完了 ・H24：市道宮城 3247 号線ほか（柏倉町）整備完了	
	・市道大胡 1 号線南（横沢町） ・市道大胡 1 号線北（滝窪町・横沢町） ・市道大胡 110 号線（茂木町） ・市道宮城 4 号線（柏倉町） ・市道宮城 3265 号線・3247 号線（柏倉町） ・市道 6119 号線（粕川町室沢） ・市道粕川新設道路（粕川町一日市）	実施中
		実施予定

②公園

事業内容	実績	備考
住民のスポーツ・レクリエーション、文化活動等の拠点及び災害時の広域的な避難場所ともなる公園整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ H24：みやぎ千本桜の森の整備完了 ・ 大胡足軽グラウンド・茂木公園の整備 ・ 粕川膳城址公園の整備 	実施中

(2) 新市基本計画（富士見地区）

計画期間：平成21年度～平成31年度

【都市基盤・安全安心】

①道路等

事業内容	実績	備考
旧市町村地域間を一体的に結ぶ都市内幹線道路の整備	・ H22：市道 22-3607 他整備完了 （文教・福祉施設等アクセス道路）	
	・ H23：林道下横道線整備完了	
	・ 市道 00-197 号線（旧村道石井・原東線） ・ 市道 00-196 号線（旧村道小暮・石井線） ・ 林道葦窪線	実施中
	・ 都市計画道路 3・5・5 号線（辻・中島線）	実施予定
住民生活の向上と安全確保のため、通学路など生活に密着した地域の基幹道路の新設及び歩道設置等の改良	・ H23：市道 22-8132 号線（旧村道 8132 号線）整備完了	
	・ H23：市道 22-6034 号線（旧村道 6034 号線）整備完了 ・ 市道 22-8085 号線（旧村道 8085 号線）	実施予定
上武道路等の広域幹線道路及び県道等の都市内幹線道路へのアクセス道路整備の推進	・ 市道 00-199 号線（旧村道時沢・米野線）	実施予定

②上下水道

事業内容	実績	備考
浄配水施設の整備	・ 老朽化した小規模配水池や遠方監視システムなどの整備 （配水施設工事等）	実施中
配水管の整備	・ 老朽管の更新（配水管布設替工事等） ・ 旧大洞簡易水道地区の統合整備事業	実施中
石綿管の更新	・ H23：石綿セメント管の更新完了（配水管布設替工事） ※旧大洞簡易水道地区の統合整備事業で布設替(1.5km)	実施中
公共下水道の整備	・ 公共下水道工事等（富士見町時沢・小暮）	実施中
農業集落排水施設の整備	・ H23：白川東地区 （H22.10.1 一部供用開始、H23.2.17 全面供用開始）	
し尿・浄化槽汚泥処理施設建て替え	・ し尿、浄化槽汚泥等を六供町の施設で一括処理 ・ 効率的な処理方法や現行施設の老朽化対策を検討	検討中

③交通

事業内容	実績	備考
バス交通網整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 赤城山直通バスの運行支援 るんるんバスのデマンド運行化に向けた社会実験 	

④安全安心

事業内容	実績	備考
災害備蓄食料及び資機材購入事業	<ul style="list-style-type: none"> 非常用食糧の備蓄（常時 151,470 食を確保） 簡易トイレ、炊き出し用大釜等の購入 	
新防災行政無線設置事業	<ul style="list-style-type: none"> H22：デジタル防災行政無線の整備完了（遠隔制御盤：富士見支所 1 台、屋外子局：9 基を設置済） H22：全国瞬時警報システム（J-ALERT）の整備完了 	
耐震性貯水槽建設事業	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽（40 m³）を毎年度、地区内に 1 基を整備（富士見地区に 4 基を設置済） 	
消防車両等整備管理事業	<ul style="list-style-type: none"> 経年による消防団車両の老朽化並びに走行磨耗等を考慮し計画的に更新予定 	

【環境】

①生活環境

事業内容	実績	備考
有価物集団回収	<ul style="list-style-type: none"> 紙リサイクル庫を富士見支所に設置済 	

【健康・福祉】

①子育て

事業内容	実績	備考
放課後児童クラブの整備	<ul style="list-style-type: none"> H23：いしい・しらかわ児童クラブ（新築）完成 	検討中
	<ul style="list-style-type: none"> 原小学校放課後児童クラブの整備 	
地域子育て支援拠点事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援センターの設置（富士見地区に 1 か所設置済） 	

②福祉

事業内容	実績	備考
老人福祉センター機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化に応じた施設改修 耐震診断 	

【産業】

①観光

事業内容	実績	備考
県と連携した大沼周辺の整備、白樺牧場等の管理など	<ul style="list-style-type: none"> 赤城山総合観光案内所トイレ及び展望デッキ設置完了 登山道等の案内看板設置済 みずなら原生林遊歩道等の整備完了 白樺牧場牧柵改修完了 赤城山観光振興事業の実施 など 	

【教育】

①社会教育

事業内容	実績	備考
公民館環境整備改修事業	<ul style="list-style-type: none"> 富士見公民館の空調設備、給湯器を改修 耐震診断完了 	
児童文化センター整備事業	<ul style="list-style-type: none"> H24：児童文化センターの新築（H24.1.21 開館） 子どもたちの「学び」と「遊び」の活動交流拠点を整備 	
富士見総合グラウンド改修事業	<ul style="list-style-type: none"> 地質調査完了 （多目的グラウンドの湧水対策等に向けた調査） 	

②学校教育

事業内容	実績	備考
適応指導教室事業	<ul style="list-style-type: none"> 適応指導教室「あすなろ」（富士見公民館内）を設置済 （不登校児童生徒の相談、指導） 	
校舎等耐震補強事業	<ul style="list-style-type: none"> H22：時沢小学校体育館完了 	
校舎大規模改修・増改築事業	<ul style="list-style-type: none"> H21：時沢小学校校舎（増築）完成 富士見中学校校舎（増築）完成 	検討中
	<ul style="list-style-type: none"> 富士見中学校校舎エレベーター設置 原小学校校舎エレベーター設置 	
プール改築事業	<ul style="list-style-type: none"> H21：富士見中学校プール（新築）完成 	
学校敷地・グラウンド拡張整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 原小学校校庭整備 	検討中

③文化振興

事業内容	実績	備考
美術館構想の推進	<ul style="list-style-type: none"> アーツ前橋（芸術文化施設）の整備（H25.10 開館予定） 	実施中

【行政】

①住民協働

事業内容	実 績	
旧富士見村役場周辺の整備	・市立図書館新富士見分館の整備	実施中